

# 挨拶ロボット作成企画

2021/03/06(土)

# 目次

- 目的
- 計画
- 作るもの
- 見積もり
- 開発方法
- 資金調達

# 目的

小学生を楽しく大声での挨拶を勧めるプロジェクトです。

小学生の保護者から、「最近、子供たちが明るく挨拶できない、若しくは挨拶しない」と悩む声を聞いたことがあります。

私は通学路巡回するとき、子供たちに声を掛けると、言い返す子もありますが、半分以上は挨拶しません。挨拶したがっても恥ずかしくて声を出せないでしょう。

大人が挨拶するように指導しても良いが、**子供たち自ら楽しく挨拶したがるようにしたい**と考えます。

挨拶するロボットを作って、ロボットから声を掛けて、子供たちが遊び気持ちでロボットと挨拶すれば、どんどん周りの人にも気軽に挨拶できるようになると思います。

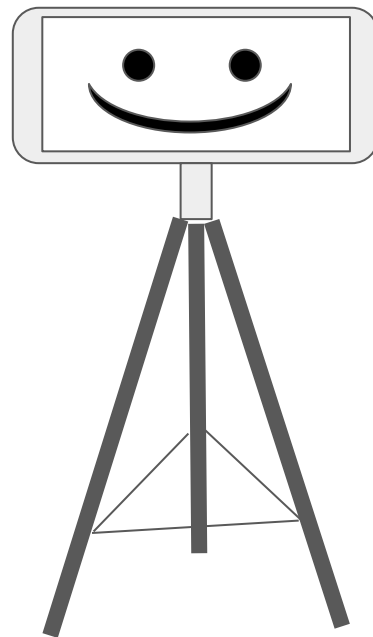
# 計画

工程	Phase 1		Phase 2	Phase 3
目的	プロトタイプ開発	運用	製品開発	量産
期間	3ヶ月	6ヶ月	1年間	～

- Phase 1: テスト製品の開発と実験運用。  
スマホでアプリ開発して、インターネットを利用して画像認識・音声認識AI等の機能を使用する。
- Phase 2: 本製品開発  
インターネットに繋がらず機能する製品を開発する。
- Phase 3: 量産  
無償で生産権を付与して量産を広める。
- 本資料は、Phase 1だけを触る。

# 作るもの

- 物
  - スマホ
  - 三脚
- 機能
  - ビデオでとる人を認識して、挨拶声を出す。
  - 人の反応声を認識して、返事する。例えば、ほめる、天気の話し等。
- 技術
  - 人認識
  - 音声認識
  - 音声合成
  - ネットにつなぐ



# 見積もり

項目	備考	費用
スマホ	TBD:モデル名	
三脚	中古品購入	
アプリ開発	TBD	
運用ネット代	6ヶ月分	
サービス	画像認識、音声認識、AI、TECHTOSPEECH	
管理費用	資金調達企画作成	
	合計	

# 開発方法

- MITライセンスのオープンソースプロジェクトとする。  
<https://github.com/umbalaconmeogia/aisarobo>
- 無料で開発者募集出来ればその分の費用が節約できる。  
開発者募集できない場合、お金を払って開発者募集する。  
費用を節約するため、海外にアウトソーシングすることがある。
- Androidスマホのアプリとして開発する。  
端末選定基準: スピーカーの音量が大きい、カメラ機能が十分に使える。

# 資金調達

- クラウドファンディング（例えば <https://camp-fire.jp/> ）で資金募集。
- 目標金額を達成しなくても実現する。
- 目標金額を超えた場合、その分試験端末を増やして実験運用箇所を増やす。
- 資金を応援した方の氏名を、Phase 1のプロジェクトとアプリのクレジットページに掲載する。



# 変更履歴

版	内容	日付	担当
1.0	初版	2021/03/06	ThanhTT